

① 津山市の産業構造 ⇒ 資料2-1

- ・産業別生産額 ⇒ 生産額が最も大きい産業は保健衛生・社会事業で605億円であり、次いで食料品、建設業、住宅賃貸業の生産額が大きい。
- ・産業別修正特化係数 ⇒ 全国と比較して得意としている産業は、電子部品・デバイス、電気機械、電気業、食料品、金属製品、廃棄物処理業等である。
- ・産業別純移輸出額 ⇒ 域外から所得を獲得している産業は電子部品・デバイス、電気機械、食料品、保健衛生・社会事業、電気業、金属製品等である。
- ・産業別付加価値額 ⇒ 付加価値額が最も大きい産業は保健衛生・社会事業で399億円であり、次いで住宅賃貸業、小売業、専門・科学技術、業務支援サービス業の付加価値額が大きい。
- ・創業比率 ⇒ 創業比率は3.45%となっており、県平均4.28%、全国平均5.04%より少し低い。
- ・黒字赤字企業比率 ⇒ 黒字企業は78.8%となっており、県平均82.2%、全国平均83.6%より少し低い。

② 現在の創業支援施策 ⇒ 資料2-2

- ・創業支援事業計画の推進 ⇒ 平成27年4月に「つやま産業支援センター」を設置することと併せ、関係機関との連携による創業支援体制を整備し、地域活性化の重要なテーマとして推進。
 - 【支援内容】
 - ① 市内の創業希望者へのきめ細やかな支援体制整備
 - ② 首都圏ほか域外の創業希望者への働きかけを通じた1ターン創業
 - ③ 既存企業による第二創業の支援
 - 【関係機関】 津山市（つやま産業支援センター）、津山商工会議所、作州津山商工会、岡山県産業振興財団、各金融機関等
- ・つやま産業支援センター創業関連事業等
 - ・サテライトオフィス設置・創業等サポート補助金
 - ・創業スクールHoming・Homingビジネスプランコンテスト
 - ・創業相談窓口・信金創業塾 など

③ 創業支援施策の実績 ⇒ 資料2-3

○つやま産業支援センター創業関連事業実績

- ・サテライトオフィス設置・創業等サポート補助事業 ⇒ R3年度 サテライトオフィス設置(株)ノブレス(本社:横浜)
- ・創業スクールHoming ⇒ 受講生 平成30年度 20名 令和元年度 20名 令和2年度 13名
- ・Homingビジネスプランコンテスト ⇒ 参加者数 令和元年度 9名 令和2年度 9名 令和3年度 6名
- ・創業相談窓口の開設 ⇒ 相談件数 平成30年度 42名 令和元年度 31名 令和2年度 43名
- ・創業支援事業計画による創業者数 令和2年度 62名
 - 【サービス業】23%(14名) 【飲食業】18%(11名) 【美容業】18%(11名) 【小売業】12%(8名)
 - 【建築業】9%(6名) 【その他】20%(12名)

④ 創業支援における新しい視点 ⇒ 資料2-4

○地方創生の3つの視点のうちヒューマン部分

- 国の総合戦略の横断的目標「誰もが活躍する地域社会の推進」を図るため、「生涯活躍のまち」として4つの機能(「活躍・しごと」「交流・居場所」「住まい」「健康」)を確保し、都市と地方の人材循環を通じた「人の流れづくり」を推進する。
- ・多様な人の交流拠点づくり(歴史文化施設等を活用した拠点の整備と多様な人々の交流づくり)
 - ・賑わい創出と人財が活躍できる地域の創造(地域の女性や高齢者など、誰もがコミュニティの中で活躍できるしごとづくり)
 - ・交流・関係・定住人口の拡大による地域活性化(移住支援と関係人口拡大によるコミュニケーションへの人流づくり)

⑤ 協議事項(テーマ)

- ・創業無関心者、創業希望者、創業準備、創業者などのステージ毎の困り感や支援していく上で何が必要とされているか
- ・創業者が事業を継続してく上で必要不可欠なもの
- ・今後の関係機関の連携のあり方
- ・津山市の創業支援に向けた取組として目指す方向性 など